

# 官民ファンド・各省庁等からの 補足説明

# CJ機構

## 投資事例

**MIYAKO  
CAPITAL**

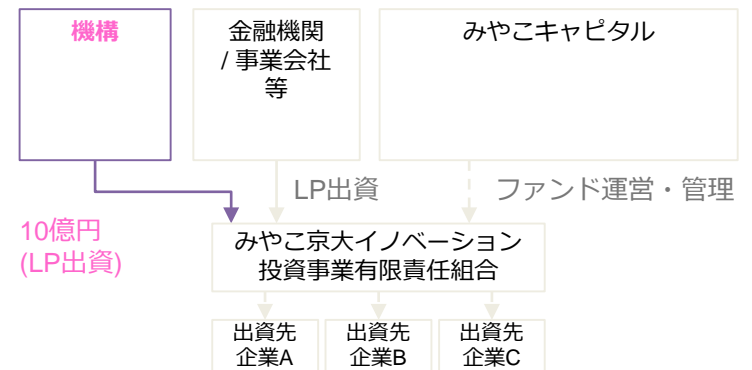
- 社名 みやこ京大イノベーション投資事業  
有限責任組合
- 設立年月 2015年11月
- 総事業費 73億円

## 投資背景・事業内容

- ヘルスケア・先端テクノロジー系のベンチャー企業に対し、出資・経営支援を行う「みやこキャピタル」が組成・運営するファンドへのLP出資
- 本ファンドを通じて、海外展開を含む機動的な事業展開に向けたリスクマネーを供給、世界で活躍できるベンチャー企業の創出・育成を目指す

## 投資方針

## 投資スキーム



- 公表時期 2018年5月
- LP出資比率 13.6%
- 進出国 日本国内、米国、台湾、ドイツ

## “B2C”、“海外展開”、“波及効果” にフォーカスした投資を行います

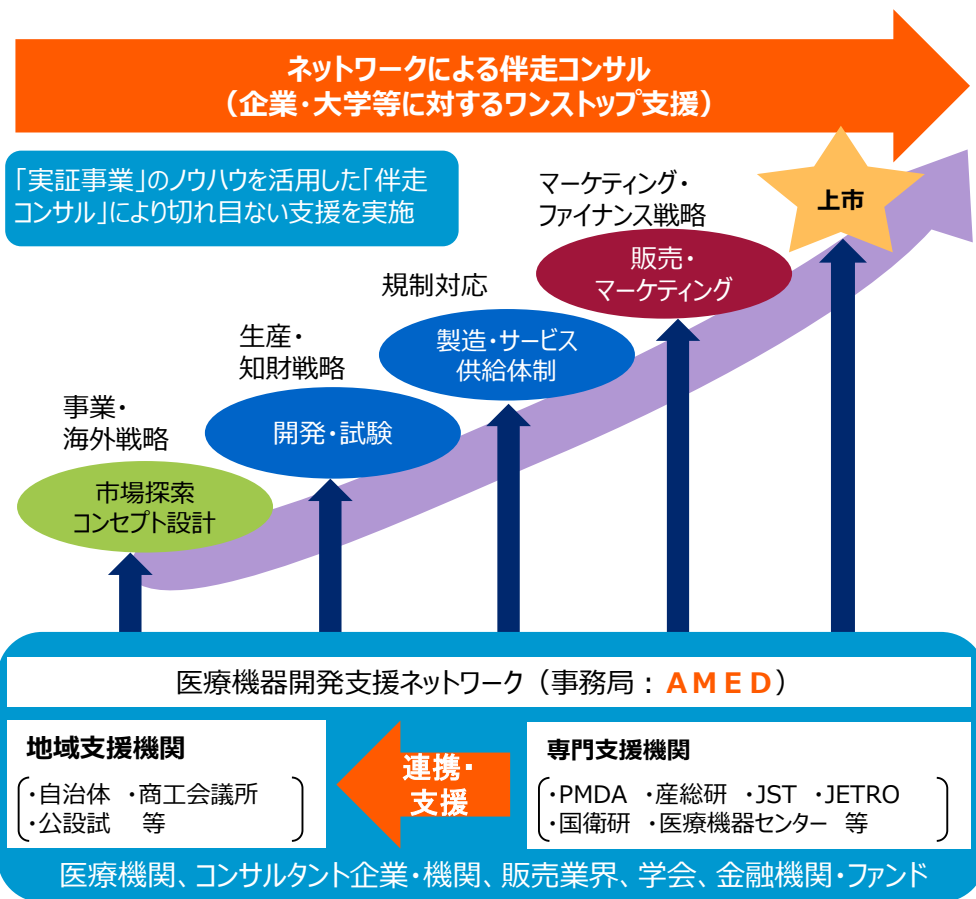
### 重視する3つの投資パターン

- ✓ アウトバウンド投資  
例 海外プラットフォーム投資による現地での日本ビジネス / ブームの創出
- ✓ インバウンド投資  
例 外資企業との連携による国内投資
- ✓ 国内投資  
例 事業承継・国内事業拡大と海外事業拡大を組み合わせた投資

**グローバル  
シナジーの  
創出**

# 經濟産業省

- 平成26年10月に、「**医療機器開発支援ネットワーク**」を立ち上げ。
- **AMEDを事務局**として、事務局サポート機関と**76の地域支援機関**に「**ワンストップ窓口**」を設置。
- 相談件数は約**1,570件**に達し、このうち、**専門家による助言（伴走コンサル）**は約**660件**。
- **異業種**（電機電子・自動車部品・化学・光学・製薬等）から相談増。
- 地域支援機関と連携し、**伴走コンサルの地方開催**（福島、石川、大阪、福岡等）も実施。（令和元年6月30日時点）



## 主な地域支援機関

### 【北海道・東北地区】

- 北海道科学技術総合振興センター
- いわて産業振興センター
- 山形県産業技術振興機構
- ふくしま医療機器産業推進機構
- 青森県
- 秋田県
- 宮城県

### 【近畿地区】

- 滋賀県産業支援プラザ
- 京都産業21
- 神戸医療産業都市推進機構
- 奈良県地域産業振興センター
- わかやま産業振興財団
- 大阪商工会議所

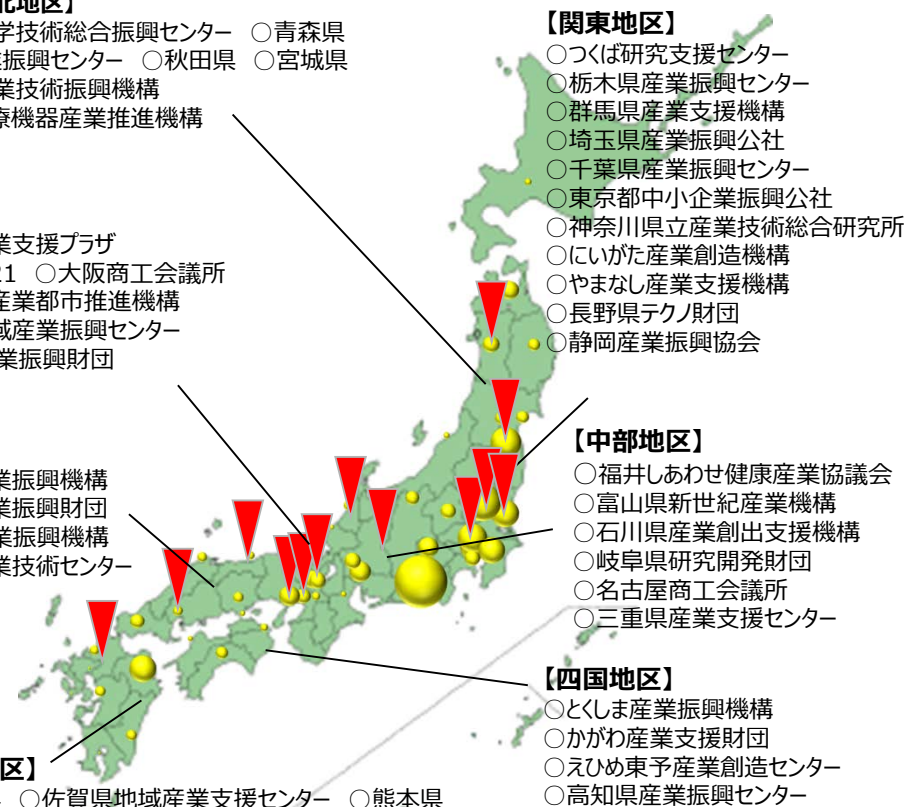
### 【中国地区】

- 鳥取県産業振興機構
- 岡山県産業振興財団
- ひろしま産業振興機構
- 山口県産業技術センター

### 【九州地区】

- 福岡県
- 大分県
- 佐賀県地域産業支援センター
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県産業振興公社
- 熊本県

● 医療機器生産額 ▼ 伴走コンサル地方開催



# 「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト」の変遷

- 社会課題解決につながる優良事例の表彰、サポート団体や連携イベント等とのネットワーク構築を通して、ヘルスケア産業の大きな潮流を生み出すことを目指し、2016年3月に第1回目を開催。今回で4回目の開催。
- 過去のファイナリスト企業からJ-Startupに4社が選出。
- サポート団体、連携イベントとも拡大中。第4回は、サポート団体107、連携イベント22に増加。

## ■過去のJHeC概要

### 第1回 2016年3月15日開催

- 【グランプリ：MRT株式会社】受賞後、メディア取材依頼が1年で100件超。TICADなど国際会議に多数参加。
- サポート団体 15団体、連携イベント 9イベント

### 第2回 2017年3月3日開催

↓ J-Startup

- 【グランプリ：トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社】 J-Startupに選出。1st Well Aging Society Summit、CESなどで受賞。フランスの最大手介護施設と提携しフランス進出。
- サポート団体 22団体、連携イベント 13イベント

### 第3回 2018年1月18日開催

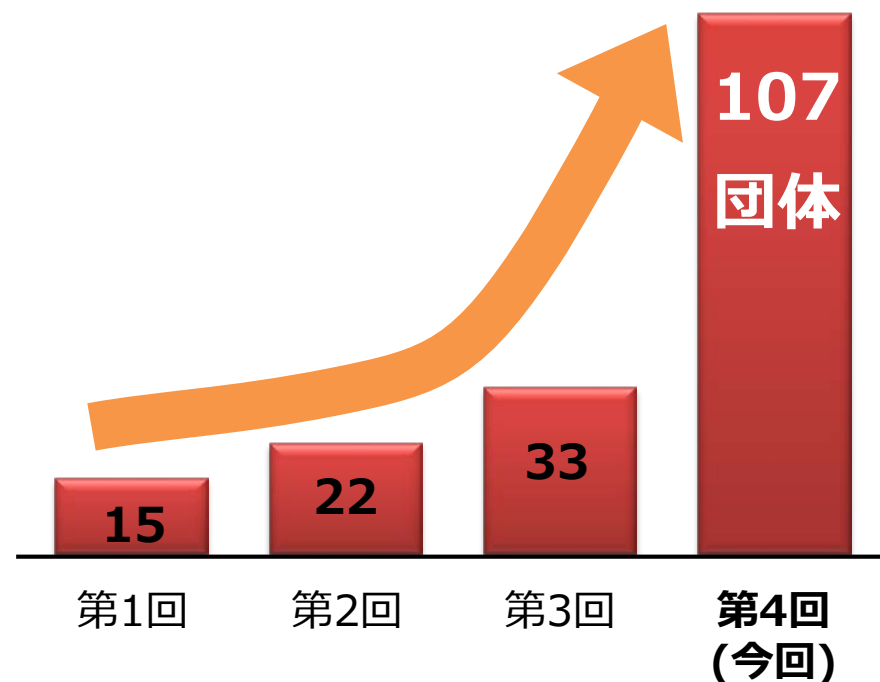
↓ J-Startup

- 【グランプリ：株式会社mediVR】 J-Startupに選出。受賞後1年で製品が完成、医療機器として販売開始予定。国内だけでなく欧米アジアからの問い合わせ急増。
- サポート団体 33団体、連携イベント 15イベント

### 第4回 2019年1月30日開催

- 【グランプリ：株式会社カケハシ】
- サポート団体 **107団体**、連携イベント **22イベント**。アイデアコンテスト部門を新設。

## ■サポート団体数の推移



サポート団体、連携イベントとも年々増加！

# 「2nd Well Aging Society Summit Asia-Japan」の開催

- 「高齢者ニーズが集積」「高い医療・介護の品質・技術力」「クオリティデータが取得可能」を有する **日本はサービス開発フィールド、R&D拠点として有望**であることをアピール。
- 国内の医療・介護分野において、**国内外からの投資や企業参入による競争を活性化**させ、より有用なサービスを国内に呼び込み、国民の健康寿命延伸につなげる。
- 上記を実現するため、**オールジャパンの取組として**、様々なグローバルなプレイヤー（ベンチャー企業、投資家、サポート企業等）を集めた**グローバルなビジネスマッチングイベント**を開催する。シンポジウムやピッチコンテスト形式を想定。
- 2018年10月に開催した「1st Well Aging Society Summit Asia-Japan」では、12ヶ国から778名に会場いただいた。（登壇者62名、スタートアップ17社）

国内外から様々なプレイヤーが参加し、ビジネスマッチングを促進する

## ***2nd Well Aging Society Summit Asia-Japan***

日時：2019年10月16日（水）～17日（木）

会場：日本橋

主催：経済産業省

共催：内閣官房 健康・医療戦略室、厚生労働省、AMED

企画協力（調整中）：世界経済フォーラム、LINK-J、Aging Japan

連携イベント：BioJapan、国際福祉機器展、CEATEC、デジタルヘルスDAYS、ジャパン・ヘルスケアベンチャーサミット（厚生労働省主催）、等

内容：基調講演、ピッチコンテスト、パネルディスカッション、ネットワーキング等

テーマ：**超高齢社会への対応**  
**クオリティ・デジタルヘルス**  
**Biotech**



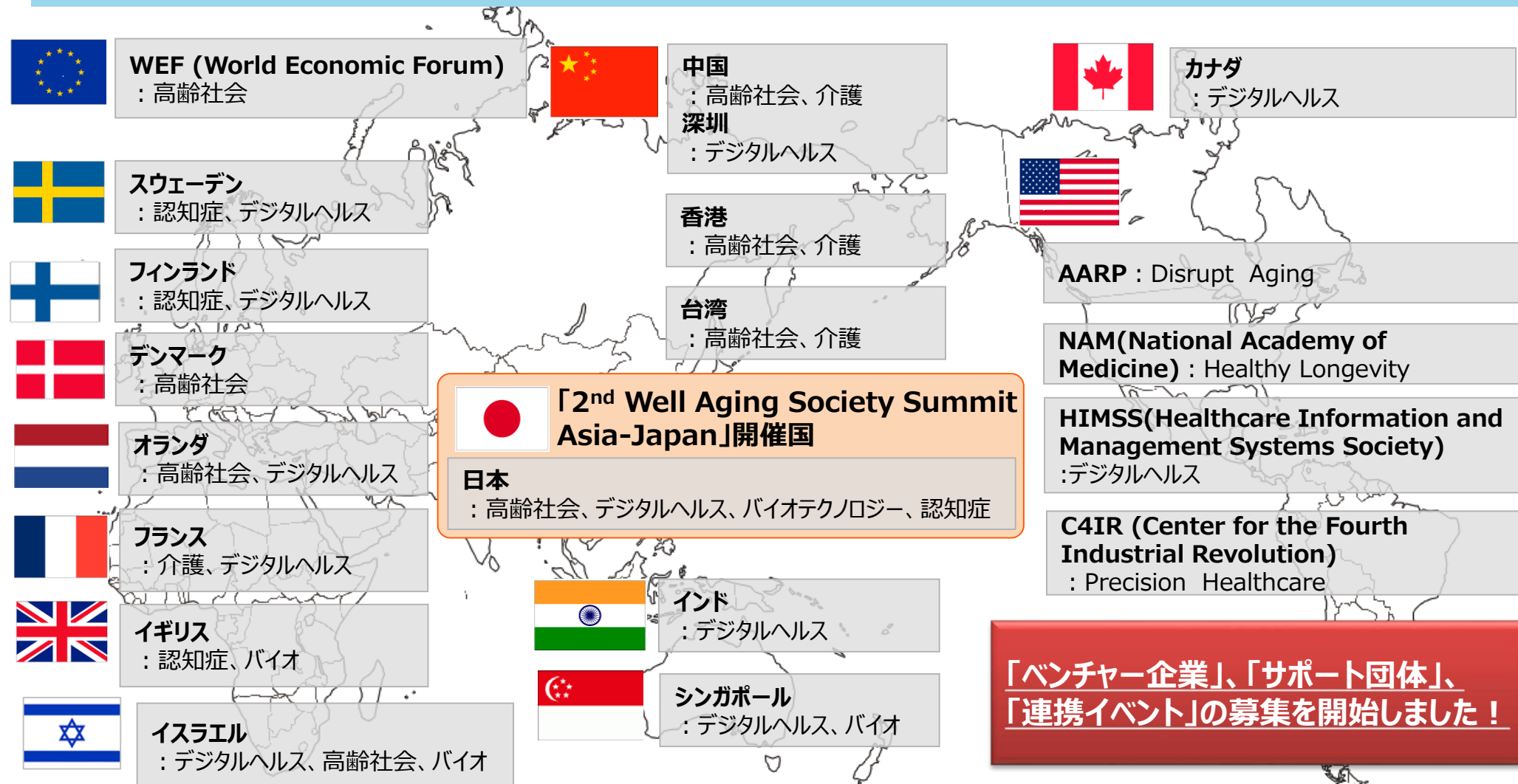
国内外のプレイヤーのマッチングによって、日本をフィールドとして開発されたビジネスの国際展開を支援する

- ① 国内外からのヘルスケア分野の投資を活性化
- ② 創薬・機器・サービス開発、R&D拠点としてのポジションを確立
- ③ 健康寿命の延伸へ

# 「2<sup>nd</sup> Well Aging Society Summit Asia-Japan」に関する

## 諸外国との連携

- 「2<sup>nd</sup> Well Aging Society Summit Asia-Japan」に対して、関係各国から、有識者、ベンチャー企業、事業会社、投資家、官公庁等を招致予定。
- 当サミットへの参加だけでなく、高齢社会対応等の取組について、連携・協力体制を構築中。





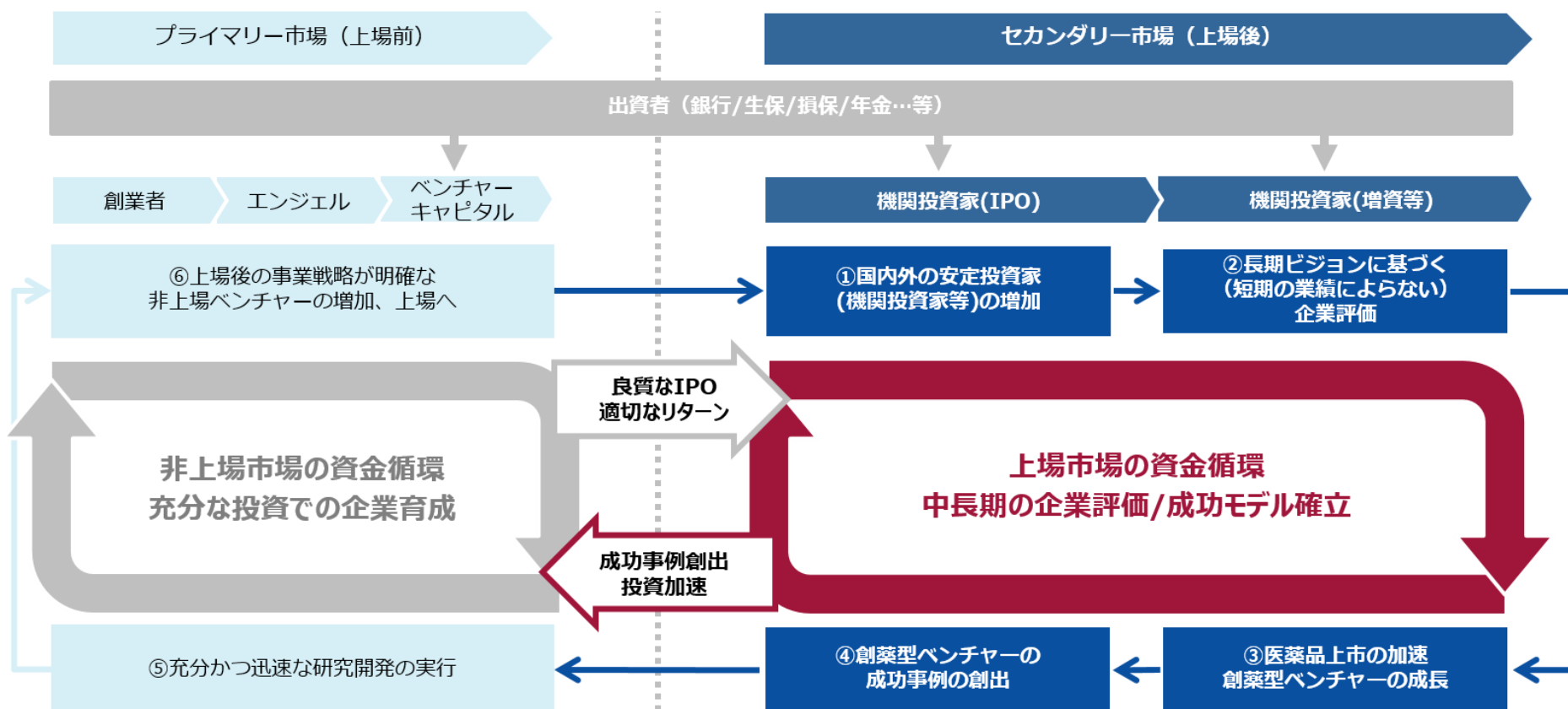
# Healthcare Innovation Weeks Asia-Japan2019イベントカレンダー

月	火	水	木	金	土	日	
9/23	24	25	26	27	28	29	
秋分の日	Healthcare Innovation Weeks Asia-Japan2019						
	H.C.R2019@東京						
30	10/1	2	3	4	5	6	
Healthcare Innovation Weeks Asia-Japan2019							
7	8	9	10	11	12	13	
Healthcare Innovation Weeks Asia-Japan2019							
		BioJapan2019@横浜					
		ジャパン・ヘルスケアベンチャーサミット2019@横浜					
		X HEALTH EXPO2019@東京					
14	15	16	17	18	19	20	
Healthcare Innovation Weeks Asia-Japan2019							
体育の日	CEATEC JAPAN2019@幕張				G20保健大臣会合@岡山		
	2ndWellAging SocietySummit @日本橋						

# 「伊藤レポート2.0バイオメディカル産業版」

- **日本の上場後のバイオベンチャーの資金調達**が米国などに比べて**不十分**な現状を問題視し、設置された「バイオベンチャーと投資家の対話促進研究会」の報告書を2018年4月に公表した。
- 本報告書においては、1) 創薬型ベンチャーと投資家の対話を促進する共通言語の策定、2) 新興市場の現状と課題の提示の2点を通じて、投資家による創薬型ベンチャーのビジネスモデルへの理解を深めるとともに、**上場後も含めたバイオベンチャーの資金調達環境の改善に向けた方向性**を示した。

## 日本の創薬型ベンチャーの成長を促進するための、**上場後も含めた望ましい資金循環の絵姿**



# 伊藤研究会(18年)では、10の課題に対する具体的アクション支援を実行

伊藤研究会(17年)で指摘された10の改善点

伊藤研究会(18年)での具体的なアクション

現在の課題  
今後のアクションプラン

新興企業を支える  
投資家の増加

- 2-1. 質の高い対話の促進
- 2-2. 海外機関投資家の呼び込み
- 2-3. オルタナティブ枠の拡大
- 2-4. 脱TOPIX

- 伊藤レポート2.0の継続更新
- イベントを通じた普及啓発等
  - ・ 1st well aging summit
  - ・ Bio Japan 2018
  - ・ Bio Japan 2019 (予定)

- 海外機関投資家向けイベントの企画や継続的な開催の検討
- 投資ガイダンスの普及
- クロスオーバーファンドの創設促進に向けた検討

投資家と新興企業をつなぐ機能の強化

- 3-1. インデックスの創設
- 3-2. アナリスト増加
- 3-3. 統計情報の海外発信

- S&Pがバイオ指数ドラフト作成
- IIのセクター区分にバイオが明記
- 海外バイオデータベースの調査

- 投資可能な指数の創設
- IRポイントの明確化
- 海外データベースへの登録促進

魅力的な企業を生み出す上場制度

- 1-1. 上場基準
- 1-2. 上場廃止基準
- 1-3. 資金調達手法の多様化

- 東証ライフ窓口設置
- 市場構造の在り方等に関する懇談会の設置  
(新興市場の上場基準・廃止基準)

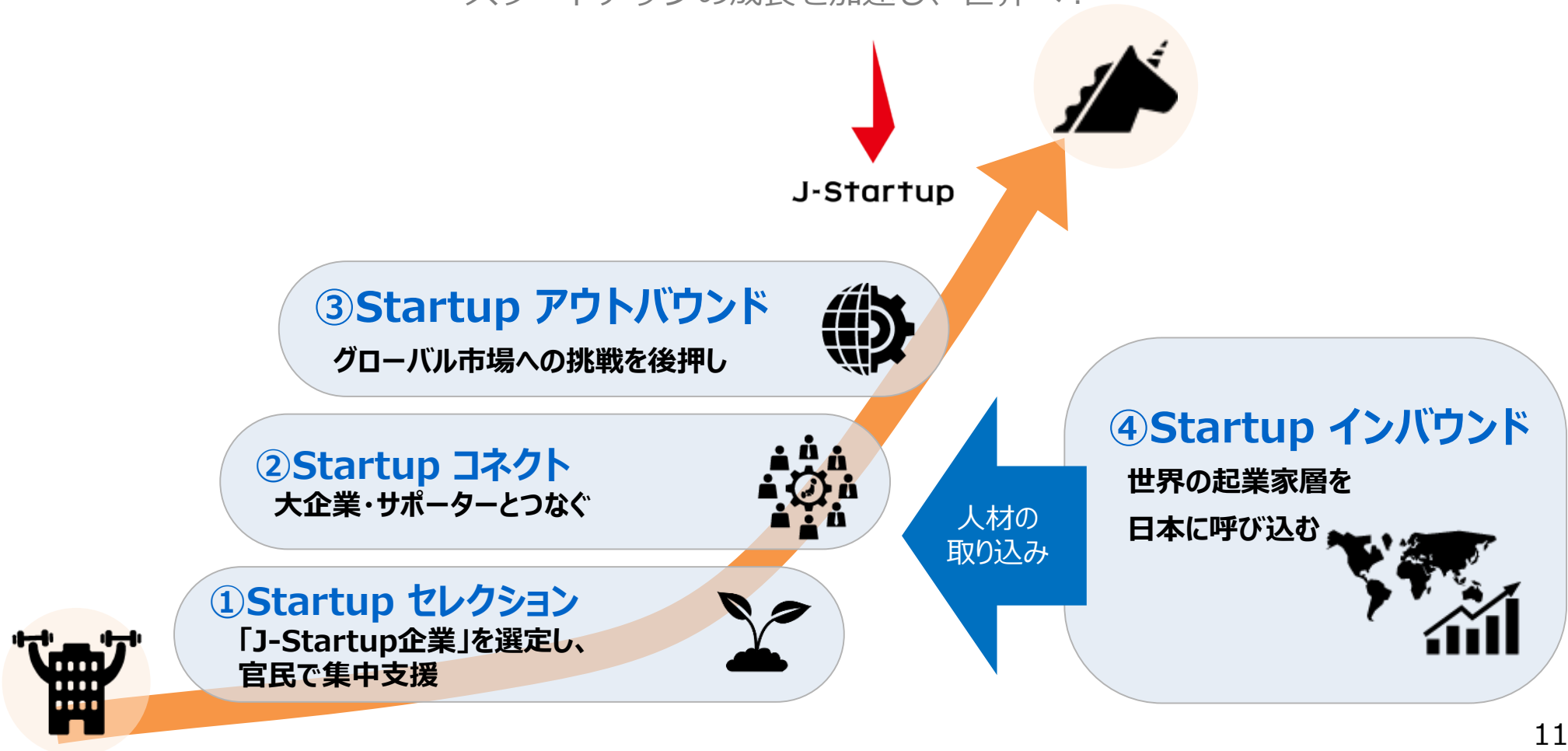
- 上場基準の適正化 (諸外国の基準等も考慮した上での上場基準の再設計)
- 上場廃止基準の適正化 (業績要件ではなく時価総額等を基準とする制度の形成)

# (参考) グローバルなイノベーションネットワークの構築： スタートアップエコシステムの構築に向けた取組 (J-Startup)



- J-Startup という統一ブランドのもと、①「J-Startup企業」を選定し、②大企業・サポーターとつなぎ、③グローバル展開を支援するとともに、④世界の起業家層を呼び込むことにより、日本の成長と雇用を支える新たなエコシステムを構築する。

スタートアップの成長を加速し、世界へ！



# (参考) J-Startup企業 (140社)



## J-Startup

## J-Startup企業 (2018年選定91社)

Architect株式会社  
株式会社ispace  
**AWAKENS, Inc.**  
株式会社アクセルスペース  
株式会社アストロスケール  
株式会社ABEJA  
株式会社アラヤ  
AlpacaJapan株式会社  
Idein株式会社  
Inagora株式会社  
InstaVR株式会社  
株式会社インフォステラ  
**WHILL株式会社**  
株式会社エイシング  
**エーアイシルク株式会社**  
**株式会社エクサウィザーズ**  
**エディジーン株式会社**  
**エルピクセル株式会社**  
エレファンテック株式会社

**株式会社O: (オー)**  
株式会社お金のデザイン  
株式会社Origami  
株式会社オルツ  
株式会社カウリス  
**株式会社キュア・アップ**  
株式会社QPS研究所  
株式会社Kyulux  
Kyoto Robotics株式会社  
**クオタムバイオシステムズ株式会社**  
株式会社クラウドワークス  
GROOVE X株式会社  
Global Mobility Service (株)  
株式会社 Cogent Labs  
ココアモーターズ株式会社  
コネクテックジャパン株式会社  
**CYBERDYNE株式会社**  
株式会社GRA  
株式会社JTOWER

株式会社Studio Ousia  
Spiber株式会社  
スペースリンク株式会社  
株式会社SmartHR  
株式会社スマートドライブ  
株式会社すららネット  
株式会社ZMP  
SORABITO株式会社  
株式会社チャレナジー  
株式会社tsumug  
テラモーターズ株式会社  
テレグジスタンス株式会社  
株式会社Trigence Semiconductor  
**トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社**  
**株式会社ナノエッグ**  
日本環境設計株式会社  
株式会社PKSHA Technology  
株式会社バイオーム

株式会社パネル  
**株式会社P・マインド**  
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社  
株式会社ビザスク  
VISITS Technologies 株式会社  
BizteX 株式会社  
株式会社ビズリーチ  
**株式会社Finc**  
株式会社Photo electron Soul  
株式会社Preferred Networks  
Fringe81株式会社  
株式会社FLOSFIA  
**ペプチドリーム株式会社**  
**Holoeyes株式会社**  
マイクロ波化学株式会社  
株式会社マネーフォワード  
MAMORIO株式会社  
株式会社MUJIN  
**株式会社メガカリオン**

**株式会社mediVR**  
株式会社メルカリ  
株式会社メルティンMMI  
**株式会社ユーグレナ**  
株式会社ユーザベース  
ライフイズテック株式会社  
ラクスル株式会社  
**リーズンホワイ株式会社**  
LeapMind株式会社  
株式会社Liquid  
**リバーフィールド株式会社**  
**株式会社リプロセル**  
株式会社ルートレック・ネット  
ワークス  
**レキオ・パワー・テクノロジー(株)**  
**レグセル株式会社**  
WAmazing株式会社

## J-Startup企業 (2019年選定49社)

株式会社i-plug  
**株式会社アイリス**  
akippa 株式会社  
株式会社アジラ  
アゾビュー株式会社  
**株式会社Alivas**  
**株式会社Integral Geometry Science**  
株式会社ALE  
株式会社Empath  
株式会社オプティマインド  
キャディ株式会社  
Kotozna 株式会社  
コネクテッドロボティクス株式会社

**株式会社サイフューズ**  
**サイマックス株式会社**  
**サスマド株式会社**  
Sansan 株式会社  
C Channel 株式会社  
株式会社シナモン  
株式会社Synamon  
**シンクサイト株式会社**  
株式会社スカイディスク  
スマートニュース株式会社  
セーフィー株式会社  
株式会社センシンロボティクス  
株式会社ティアフォー  
株式会社DG TAKANO

株式会社バカン  
**ひむかAM ファーム株式会社**  
株式会社ファームシッブ  
株式会社ファームステーション  
プランティオ株式会社  
**株式会社ブレイゾン・セラピューティクス**  
株式会社ポーラスター・スペース  
ボールウェーブ株式会社  
炎重工株式会社  
株式会社マテリアル・コンセプト  
株式会社ミューラボ  
株式会社ミラティブ  
株式会社ムスカ  
**株式会社メタジエン**

株式会社メトセラ  
メドメイン株式会社  
**ユカイ工学株式会社**  
Rapyuta Robotics 株式会社  
**株式会社Lily MedTech**  
リンクウィズ株式会社  
株式会社Luup  
**株式会社Luxonus**

医療・バイオ・  
ヘルスケア分野  
**39 / 140社**

〔 2018年度選定91社中**24社**  
2019年度選定49社中**15社** 〕

※経済産業省ヘルスケア産業課調べ  
2019/6/25時点

# 厚生労働省

# MEDISO・InnoHubとの連携

- **MEDISOにおいては、薬事や医療保険制度に関する相談**を中心に対応するほか、医療系ベンチャーが各開発段階で抱える課題について、相談対応や**事業戦略の策定等も支援**。
- **ベンチャー企業からの相談は、InnoHubに集約し、相談内容に応じてMEDISOを紹介**する等、**連携**を行う。（なお、MEDISOへの直接相談も可能で、その場合、相談内容に応じてInnoHubを紹介）
- 相談内容に応じて、**使い分け**や**両方を活用**することも可能。

